

2022年4月14日

各位

三井住友信託銀行株式会社

## Copenhagen Infrastructure Energy Transition Fund I への出資について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長: 大山 一也 以下、「当社」)は、次世代再生可能エネルギープロジェクトである Power to X(以下、「PtX」)を主要な投資対象とする Copenhagen Infrastructure Energy Transition Fund I(以下、「本ファンド」)へ有限責任組合員(Limited Partnership)として出資しましたので、お知らせいたします。

PtXとは、再生可能エネルギー(以下、「再エネ」)で発電した電力を用いて、炭素排出を伴わずに水素やアンモニア、メタノールといった化学物質、燃料等を加工製造する技術をいい、再エネ発電の貯蔵や利用可能性を拡大する手法として注目を集めています。

本ファンドは Copenhagen Infrastructure Partners(代表者: Jakob Baruël Poulsen 以下、「CIP」)が、運用資産総額 22.5 億ユーロ(約 3,000 億円)を目標(同 30 億ユーロ(約 4,000 億円)を上限)に、世界のエネルギートランジションにおける新領域である PtX 分野を牽引するべく新たに組成する投資ファンドです。

当社は、本出資を通じて、本ファンドが投資する PtX プロジェクトへのファイナンス機会の獲得だけでなく、同分野における知見の獲得・拡大、当社のお客様の脱炭素事業に関連するビジネスマッチングの機会創出等を行ってまいります。

今後もサステナブルな社会の実現に向けて、CIP をはじめとする海外金融機関との連携を幅広く強化・推進していくとともに、当社グループが長年に亘り培ってきた豊富なプロジェクトファイナンス組成ノウハウや多彩な専門性を生かしながら、ESG/SDGs分野での課題解決に貢献していきます。

### 【本ファンド概要】

名称	Copenhagen Infrastructure Energy Transition Fund I SCSp
初回クローズ	2021年6月
設立国	ルクセンブルク
無限責任組合員(GP)	Copenhagen Infrastructure ETF I GP S.a.r.l.
ファンドサイズ	22.5 億ユーロ(上限 30 億ユーロ)
投資対象	OECD 諸国における PtX 他脱炭素関連事業
当社出資契約締結日	2022年4月13日
当社出資約束金額	1,000 万ユーロ

< Copenhagen Infrastructure Partners (CIP) >

CIP は、2012 年にデンマークで設立された再エネ投資に特化したファンドマネージャーで、運用資産は約 150 億ユーロ(約 2 兆円)と、再エネ分野では世界最大級の規模を有し、今後 10 年間で運用資産を 1,000 億ユーロ(約 13.4 兆円)まで拡大する計画です。

以上